

【目次】

地 域	No.	要 望 ・ 意 見	担当課
野市町	1	ふるさと納税について	総務課
野市町	2	堤防工事について	農林水産課
野市町	3	河川管理について	建設課
野市町	4	広報の配布について	総務課
野市町	5	防犯灯について(子どもの夜道の安全について)	地域支援課
野市町	6	地区懇談会配布資料について	教育委員会
野市町	7	防犯灯について	地域支援課
野市町	8	避難所へのペット同伴について	防災対策課
野市町	9	夜間中学の取り組みについて	学校教育課

NO.	野市町地区 1 ふるさと納税について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	ふるさと納税について数年前に質問させてもらい、その時は2千万円台で、周辺の市町村（香美市など）と比較しても少ないので頑張ってくださいとお願いした。 それが昨年は4億3千万円となり、市としても使えるお金が増えたことは良かった。
対応状況等	【地域への回答内容】 【市長】 ご意見いただいたこともあり、担当職員を中心に頑張りました。観光協会にカタログを作成してもらっているが、当初は返礼品の数も少なかった。それを増やしていったこともあり、おかげさまで順調に増えてきた。
担当課	総務課

NO.	野市町地区 2 堤防工事について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	堤防工事において、ぜひ地元企業のインプラント工法を採用してほしい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【市長】 重点施策の説明の中で直轄海岸の話をしたが、土佐市から南国市の西半分はその工法を採用している。直径30cm程の鋼管杭を間隔を置かずにくっつけて作っており非常に頑丈にできている。何年もかかると思っていたものが3年くらいでできた。これからは物部川から東ということになる。
担当課	農林水産課

NO.	野市町地区 3 河川管理について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	大谷橋から岩松橋付近の川で葦が茂り、水質も悪いので景観を損ねている。田畑への利水について水の供給・排水の仕方が悪いのではないかと。5年前にも同様の質問があったが、その時の回答として「県管理の河川のため中央東土木事務所に要望している。」とあった。これは消極的だと思う。新庁舎も完成し、周辺整備もしている。この機会に県・市一体となった河川整備を推進してほしい。市としての強い姿勢を見せてほしい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【建設課】 河川は治水と利水に利用している。まず治水について、葦がたくさん生えていて流れを阻害している状況は確認している。これまでに何度も県へ要望しているが、今以上に市として強く要望していく。 利水について、野市町には水利組合がいくつかあるので、組合との協議も必要になってくる。県・市・水利組合で、どういった形が良いのか協議していきたい。そして、治水と利水のバランスがとれるような形での要望を行っていきたい。
担当課	建設課

NO.	野市町地区 4 広報の配布について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	広報について届くのが遅い(西佐古地区)。他の地区はもっと早く着いている様子。一日で全て配るのは難しいとは思いますが、どうして遅くなるのか。また、広報の折り込みチラシについて、年度当初は新型コロナウイルスの影響もあってか少なかったように思うが、10月号はチラシが多すぎる。綴じ方(製本の向き)もバラバラ。配布のために広報に挟み込むのに4時間もかかった。広報に記載すればチラシを入れずに済むような内容のものもある。綴じる向きを統一することやチラシを少なくすることはすぐできると思う。
対応状況等	【地域への回答内容】 【地域支援課】 月末には地域の配布者のもとにシルバー人材センターの方が届けてくれるようになっていと思う。広報の担当は総務課のため、改めて確認させてもらう。また、チラシではなく広報へ掲載するといったことや、綴じる向きなどすぐに改善できるものはやっていく。 【市長】 エリアごとに分けて配布する中で一日くらいの前後はあるかもしれない。もし二日、三日のズレがあるようなら修正が必要なので改めて確認する。 ー後日回答ー 【総務課】 下記の内容で10/29、11/5に質問者に回答した。 配布数の多い野市町は二日間かけて配布することで、初日の午後に届く地区、二日目の午後に届く地区と、どうしても到着にバラつきが出てしまっているのが現状。シルバー人材センターにも確認したところ、この二日間より遅れたことはないとのことだが、今後もし二日間より遅れるようなことがあればご連絡をいただきたい。また、今後は一日間で配布する方法等を検討していきます。 折り込みチラシについては、10月号では県議会だよりや市議会だより、赤い羽根共同募金なども重なってしまい、特に折り込みが多くなってしまいました。広報誌に掲載できるものは掲載するなど改善に取り組んでいく。 折り込みチラシの綴じ方について、団体ごとに作成しているチラシは、縦書きや横書きなど様々で、チラシそのものの綴じ方を統一することは難しいと考えていますので、この点についてはご了承いただきたい。
担当課	総務課

NO.	野市町地区 5 防犯灯について(子どもの夜道の安全について)
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	子どもの夜道の安全について、昼間と同じくらい22時頃の帰宅者が多い。真っ暗い中で自転車で家に帰る子どもなどがいる。防犯灯の設置について農作物への影響もあると聞くと、影響が少ない灯具もあるのではないかと。県警の不審者情報のメールサービスに登録したが、思っていた以上に件数が多い。子どもの安全を確保するためにも防犯灯の設置状況を再度確認してほしい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【地域支援課】 防犯灯については、補助金を活用してもらい地域で設置・管理してもらう取り組みを行っている。現地を確認した上で、補助金の活用についても案内させてもらう。 ー後日回答ー 【地域支援課】 10/13現地確認。ご意見のあった道路(喫茶ダックスから東へ100m程度の間)付近は防犯灯が無く、その範囲は暗くなっている。新設については市の補助金を活用して地域で設置する形となるため、電気代や修繕費など設置後の維持管理も含め相談された上で地域から申請していただきたい。(周辺には田畑も多く、その土地の所有者の了承も必要。) 該当地区の自治会長に連絡し、土地の所有者等とも話をしていただいた。その後、11/6付けで防犯灯設置について補助金申請書の提出があり、11/27に設置完了の連絡をいただいた。 設置されたことについて質問者にも伝えた。
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 6 地区懇談会配布資料について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	本日配布の教育委員会の取り組み資料が非常に見やすい。A3片面からA4両面にでき ると思うので、各家庭に配布すれば普段あまりチラシなど見ない方にも知ってもらえるの ではないか。
対応状況等	【地域への回答内容】 【教育長】 本日説明させてもらった内容は、できるだけ多くの方に知ってもらうことは重要と考えて いる。その中で広報はスペースも限られており、本日の資料ほどの内容を掲載するには 難しい。周知の方法は今後も色々と検討していきたい。
担当課	教育委員会

NO.	野市町地区 7 防犯灯について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	自宅付近の道が暗いと感じている。防犯灯については農作物への影響や地域による設置など、先ほどの質問やその回答で知ったこともあるが、現時点では自治会組織もできていない地区なので設置が可能なものか相談したい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【地域支援課】 現地を確認し、防犯灯が設置できる場所かどうかや、地域として申請できる状況にあるかも確認して回答する。 －後日回答－ 【地域支援課】 10/29現地確認。ご意見のあった道路は防犯灯の設置が無く、補助金の対象になると考えます。設置については、市の補助金を活用して、地域で設置する形となるため、電気代や修繕費など設置後の維持管理も含め相談された上で地域から申請していただきたい。（周辺には田畑も多く、その土地の所有者の了承も必要。） 質問者が言われるように当該地区に自治会組織はないが、町内会組織があるため防犯灯設置について補助金の活用は可能。 町内会長に、地域内で防犯灯設置の要望があった旨を伝え、前会長にも相談すると回答をいただいた。質問者にもこのことを伝えた。
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 8 避難所へのペット同伴について
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	災害が起きた時にペット同伴で避難できる避難所を検討してもらいたい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【防災対策課】 香南市で地震や津波の際に使用できる指定避難所について、避難所運営マニュアルの作成を進めているが、この中ではペット同伴で避難できるように考えている。ただ現時点では、市内の避難場所は限られているので、避難者の収容を考えるとペットは室内ではなく室外で検討を進めている。
担当課	防災対策課

NO.	野市町地区 9 夜間中学の取り組みについて
受 付	令和2年10月13日 火曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	高知市で夜間中学校についての説明会に参加したが、全国でも数少ない夜間中学校の開校を県が進めている。場所は江ノ口養護学校跡で17時半から21時。これでは香南市から行きたいという方は間に合わない。 平成22年の国勢調査という古いデータだが、県内の未就学の方が1,016人もいた。不登校児童生徒の問題もあるので、香南市としても夜間中学校も含め、そういった人たちを受け入れてくれる、関わってくれる場所が香南市にもあったらいいと思う。
対応状況等	【地域への回答内容】 【教育長】 県が進めている夜間中学校については、ご指摘の通り香南市からは時間的な問題もある。しかし、各市町村で取り組むとなると教員の確保をはじめ課題も多いと感じている。しかし、学びの機会を失われた方に対して、そういった場を保障することも、現在就学期にあり不登校となっている子ども達へ学びを保障していくことも大切と考えている。市内には不登校の子どもを受け入れる教育支援センター「森田村塾」があるが、そこへも行けない子どももいる。現在進めているギガスクールの取り組みでリモート授業ができるようになると、人が集まる場所には行けない子も、自宅のパソコンを通して先生らとつながることができるので、それも一つの方法と考えている。 また、県の教育支援センターと連携し、森田村塾で同センターの指導主事の方がリモートで授業をしてくれる取り組みも始めたところ。このように学校以外でも様々な形で学びの場を保障していけるように考えている。
担当課	学校教育課